

日本

(第三版)

国家概况

刘笑明 主编

南开大学出版社

日本国家概况

(第三版)

主 编 刘笑明

编 著 刘 洋 刘 磊 白田泰如

南开大学出版社

天 津

图书在版编目(CIP)数据

日本国家概况 / 刘笑明主编. —3 版. —天津: 南开大学出版社, 2013. 8

ISBN 978-7-310-04277-7

I. ①日… II. ①刘… III. ①日语—高等学校—教材②日本—概况—高等学校—教材 IV. ①H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2013)第 185367 号

版权所有 侵权必究

南开大学出版社出版发行

出版人: 孙克强

地址: 天津市南开区卫津路 94 号 邮政编码: 300071

营销部电话: (022)23508339 23500755

营销部传真: (022)23508542 邮购部电话: (022)23502200

*

唐山天意印刷有限责任公司印刷

全国各地新华书店经销

*

2013 年 8 月第 3 版 2013 年 8 月第 21 次印刷

210×148 毫米 32 开本 16.5 印张 472 千字

定价: 32.00 元

如遇图书印装质量问题, 请与本社营销部联系调换, 电话: (022)23507125

前 言

随着时代的发展，从事中日政治、经济、文化教育等交流的工作人员和日语学习者越来越多。因此，很需要一本适合我国读者能够全面了解日本国家概况的学习教材。

此书是以我国从事日语教育的工作者、大专院校日语专业的学生和报考日语专业硕士研究生以及准备参加全国高等教育自学考试的考生为对象，从日语教育视点出发，考虑到我国日语教学的具体情况并参照了日语教学大纲及高等教育日语专业自学考试大纲而编写的。

本书主要由日本地理、现代日本社会和日本历史三部分组成。内容包括：地理、历史、社会、政治、文化、经济、科学教育、工农业、生活以及风俗习惯等方面的知识。为了便于学习，对于课文中出现的人名、地名及事件等难读汉字词汇都标注了读法，并且每一章节都附有习题和答案以及课题研究，便于掌握要点。本书主要编写分工如下：刘洋——日本地理；刘磊——日本社会；白田泰如——日本历史；全书由刘笑明负责整体内容的修改、增补以及统稿、审订。

本书自 2000 年出版以来，受到了广大读者的好评。此次再版全部重新编写，并补充或更新了一些新的内容。教师可以根据教学任务和时间选择重点章节、内容授课。此书是日语学习者和赴日人员不可缺少的读物。

本书在编写过程中参考了日本有关资料，并且得到了从事日语教育工作者的日本教师的指导，使其内容丰富、知识新颖、系统规范，具有实用性。此书如果能够使读者了解日本并对学习日语有所

帮助，甚感欣慰。

本书在出版过程中得到了南开大学出版社张彤和宋丹女士的热情帮助，在此谨表谢意。

刘笑明

2013年2月

目次

第一篇 日本の地理

第一章 日本の位置と面積.....	3
第一節 位置と国土.....	3
練習問題.....	9
第二章 日本の人口と気候.....	11
第一節 総人口と大都市.....	11
第二節 日本の気候.....	29
第三節 季節風・梅雨・台風.....	32
第四節 自然災害.....	34
練習問題.....	37
第三章 日本列島.....	39
第一節 日本の地形.....	39
第二節 日本の山地.....	41
第三節 日本の川と湖.....	43
第四節 平地.....	46
第五節 海岸のまわり.....	48
第六節 植物と動物.....	50
練習問題.....	51
第四章 日本の資源.....	53
第一節 地下資源とエネルギー.....	53
第二節 森林資源.....	56
第三節 水産資源.....	56

第四節 公害	58
練習問題.....	61
第五章 日本の交通	63
第一節 陸上交通	63
第二節 海上と空の交通	68
練習問題.....	70
第六章 日本の各地方.....	72
第一節 北海道地方.....	72
第二節 東北地方	78
第三節 関東地方	82
第四節 中部地方	87
第五節 近畿地方	92
第六節 中国と四国地方	97
第七節 九州と沖縄地方	100
練習問題.....	104
総合練習問題 (A)	105
総合練習問題 (B)	106
練習問題の答案.....	107
総合練習問題 (A) 答案	113
総合練習問題 (B) 答案	113

第二篇 日本の社会

第一章 日本の政治	117
第一節 日本国憲法.....	117
第二節 国会の地位と仕組.....	120
第三節 内閣	123

第四節	司法権と裁判所	125
第五節	日本の選挙と政党.....	128
第六節	地方自治	130
	練習問題.....	132
第二章	日本の経済	137
第一節	戦後以降の日本経済史	137
第二節	日本の産業.....	143
第三節	日本の経済問題	148
	練習問題.....	153
第三章	日本の教育	157
第一節	教育の近代化.....	157
第二節	戦後の教育.....	158
第三節	日本の教育問題	163
	練習問題.....	166
第四章	日本の文化	170
第一節	日本の年中行事	171
第二節	日本の伝統芸能	181
第三節	日本文学の流れ	190
第四節	日本の伝統武道	194
第五節	日本の宗教.....	197
	練習問題.....	199
第五章	日本人	203
第一節	日本人の衣食住	203
第二節	日本人のレジャー.....	210
第三節	日本人の通過儀礼.....	211
第四節	日本人の性格	216
	練習問題.....	218
	練習問題の答案.....	221

第三篇 日本の歴史

第一章 古代の日本	233
第一節 縄文時代以前	233
第二節 縄文時代	235
第三節 農耕文化の成立	237
第四節 倭国大乱と邪馬台国	239
第五節 古墳文化と大和政権	241
第六節 大和政権	242
練習問題	244
第二章 飛鳥時代	247
第一節 推古朝と飛鳥文化	247
第二節 律令国家	249
第三節 奈良時代	253
第四節 天平文化	257
第五節 平安時代の始まり	260
練習問題	263
第三章 貴族の時代と国風文化	267
第一節 摂関政治	267
第二節 国風文化	270
第三節 荘園と武士	274
第四節 院政と平氏の台頭	276
練習問題	280
第四章 武士政権の始まり	283
第一節 鎌倉幕府の成立	283
第二節 執権政治	287
第三節 幕府の衰退	290

第四節 鎌倉文化	293
練習問題.....	297
第五章 武家社会の展開	300
第一節 鎌倉幕府の崩壊と室町幕府	300
第二節 守護領国制と日明貿易	304
第三節 庶民の台頭と応仁の乱	307
第四節 室町文化	312
第五節 戦国大名の台頭	317
練習問題.....	322
第六章 幕藩体制の確立	325
第一節 織豊政権	325
第二節 幕藩体制の成立	334
練習問題.....	344
第七章 幕藩体制の展開	347
第一節 幕政の安定.....	347
第二節 経済の発展.....	351
第三節 元禄文化	357
練習問題.....	361
第八章 幕藩体制の動揺	363
第一節 幕政の改革.....	363
第二節 幕府の衰退.....	369
第三節 化政文化	375
練習問題.....	381
第九章 近代国家の成立	384
第一節 開国と幕府の動乱.....	384
第二節 明治維新と富国強兵	390

第三節 立憲国家の成立と甲午戦争	401
第四節 日露戦争と国際関係	411
第五節 近代産業の発展	416
第六節 近代文化の発達	421
練習問題.....	426
第十章 近代の日本	430
第一節 第一次世界大戦と日本	430
第二節 ワシントン体制	435
第三節 恐慌の時代.....	439
第四節 軍部の台頭.....	444
第五節 第二次世界大戦	448
練習問題.....	455
第十一章 戦後の日本.....	459
第一節 占領と民主化.....	459
第二節 日本の復興.....	464
第三節 国際社会への復帰と経済成長.....	467
第四節 石油危機と低成長時代	472
第五節 現代日本の課題	479
練習問題.....	483
練習問題の答案.....	485
歴史年表.....	497
日本の大学.....	502

第一篇

日本の地理

第一章 日本の位置と面積

第一節 位置と国土

日本はアジア大陸の東側にあり、東経約 123 度から 154 度、北緯約 20 度半から 46 度の間にある。南北 3500 km にわたって、全体として弧状^{こじょう}を形成している。

日本周囲には海で、東側および南側が太平洋、北西側が日本海、西側が東中国海、北東側がオホーツク海と呼ばれている。つまり、日本の東と南西には太平洋があり、アジア大陸と日本の間には、オホーツク海と日本海と東中国海がある。日本は日本海と東中国海を隔てて中国、韓国、朝鮮と向い合い、東は広い太平洋を隔ててアメリカと相対している。北にはオホーツク海を隔ててロシアのシベリアがあり、南には太平洋を隔ててフィリピンやインドネシアなどの国々がある。特に、朝鮮半島とは対馬海峡^{つしま}で、また樺太^{からふと}（サハリン）とは宗谷海峡^{そうや}で接している。大陸や近隣の島々と極めて近い位置にあるため、大陸からの人間や文化の移動を容易にしていると考えられる。

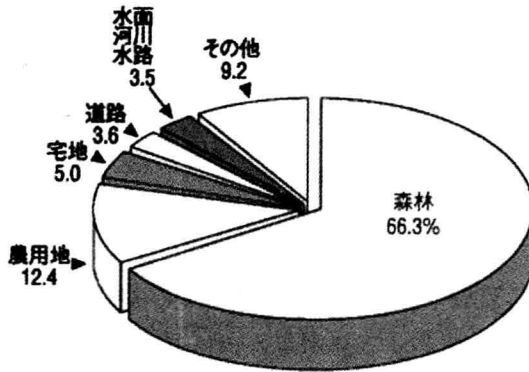


日本の位置

日本の国土は本州・北海道・九州・四国の四つの大きな島ほか、伊豆・小笠原諸島・沖縄本島、そして北東に位置する北方四島などの島から成っている。これらは日本列島と総称されている。また、海流から見れば、日本列島の南側を黒潮（日本海流）と呼ばれる暖かい海流が流れており、北からやってくる親潮（千島海流）と三陸沖から常磐沖でぶつかって好漁場を作っている。

国土の面積は約 37.8 万 km^2 であり、世界第 61 位である。土地の約 66% が森林に覆われており、国土面積の約 70% が山岳地帯であるため、河川は流路延長に比べ、川床勾配が急であり、大陸を流れる

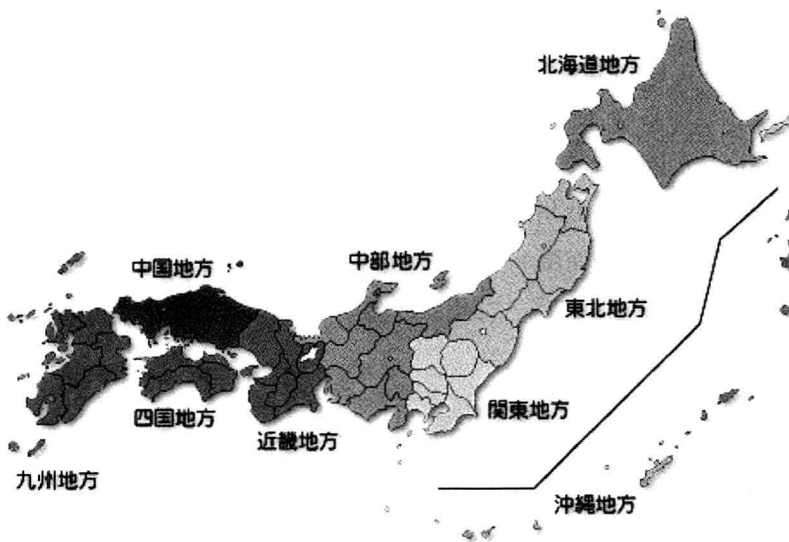
川と異なり、一気に流れ下る川が多い。また盆地や平野など山地からの出口には扇状地を発達させていることが多く、河口付近には厚い堆積層からなる平野を形成している。人が住める平地の面積は24%にしか過ぎなく、ここに人口の65%が集中している。北海道は本州の北にあり、九州は本州の南西にあり、四国は本州の南にある。その中で、本州の面積が一番大きく、全国面積の61%を占めている。ついで、北海道は22%、九州（沖縄県を含む）は12%、四国は5%をそれぞれ占めている。



日本国土利用の現況（平成 21 年）

国土交通省「土地白書」に引用

日本国内では、歴史的な経緯・交通機関の発達・経済の変化・文化や住民の帰属意識などによって北から北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄の九つの地方に分けられる。これらの地方区分は地形などの自然的特性と地域の産業や歴史の変遷を基礎にして分けられたもので、行政上の地方区分ではない。



九地方区分

(ウィキペディア日本に引用)

また、「九地方区分」より大きく二区分されることもある。東日本・西日本（東京と大阪の二大都市圏、または歴史的に首都や中央政権が置かれてきた畿内または南関東を中心とした経済圏や文化圏に関する区分）とあり、太平洋側・日本海側（気候や海運に関する区分）とあり、表日本・裏日本（国内での経済格差に関する区分）とある。

行政上では日本は1都（東京都）、1道（北海道）、2府（大阪府、京都府）、43県に分けられている。東北地方と関東地方には県が十二あり、中部地方には九つの県があり、近畿地方と中国地方には県が十、四国地方には県が四つ、九州地方には県が七つある。沖縄地方は沖縄県一つである。日本の都、道、府、県にはそれぞれ都庁、道庁、府庁、県庁が設けられ、その下に市、町、村などの順序で行政機構が設けられている。